地震発生予測研究センターへの名称変更

Research Center for Earthquake Forecast

地震予知研究センター（平成22年4月設置）

背景・課題

① **「地震予知」の意味合いが時代により変容**し、当センターが進める30年以内の発生確率を示す長期の確率評価に基づく地震発生予測等と名称が対応しなくなってきている

② 地震発生予測の高度化に向け、**震源過程の複雑さ・多様性**に加え、**スロー地震などの新たな変形モードの発見**や、**地殻流体が地震発生に及ぼす影響**など、当センターが進めるべき研究対象が拡大している

③ 研究成果を災害軽減に活かすために、**地震の発生パターンの多様性を適切に評価した確率予測手法の構築**が当センターの重要な研究課題となっている

センターの目的：

地震現象の包括的理解と地震発生予測の高度化のための研究の実施

① 地震・測地データの高精度な観測・解析に基づく、低速変形から高速断層すべりまでの地殻活動の統一的理解

② 地震発生域における観測・地下構造解析に基づく震源域の地殻構造・物性分布と地震発生に関連する動的な構造変化の解明

③ 島弧のリソスフェアダイナミクスの理解および地形・地質データや歴史・考古資料データ等を用いた地震発生履歴・長期間地殻変動の解明

④ 地震発生パターンの複雑性・多様性を評価した地震発生の確率予測手法の構築

⑤ 地震の発生機構や地震発生予測手法の高度化に関する国際共同研究の実施

⑥ 上記の研究活動を通した若手研究者の育成

当センターが設置当初から推進している長期の発生確率評価に基づく地震発生予測研究の内容と、センター名称との対応を明確化させ、上記教育研究活動の強化を図る。

地震発生予測研究センター（令和７年４月1日～）

- 過去の大地震の発生履歴の精査を進めるとともに、地震・測地等の地球物理学的データを活用した地震発生の確率予測手法の開発を通して、地震発生パターンの複雑性・多様性を考慮した、汎用性が高く、かつ不確実性の小さな**地震発生予測モデルを構築し、災害軽減に貢献する**ことを目的とする。
- 地震現象を主対象とした観測固体地球科学分野において、世界をリードする最先端の研究を推進し成果を積み重ねることで、**地震発生予測の高度化**を目指す。
- 「地震火山研究連携センター」と密接に連携し、国内外の研究機関・研究者の協力のもと、国際共同研究を行い、地震の発生予測手法に関する革新的な研究成果を国内外へ発出することで、地震に関する全国共同研究を牽引する。

期待される成果

- 地震発生機構の物理的理解の深化と地震発生予測手法の高度化による卓越した学知を構築し、**社会の災害対応力・防災意識の向上及び災害軽減に貢献**する。
- 国際共同研究の推進により世界の地震科学をリードし、**地震研究所の研究力を強化**するとともに、地震発生予測研究に関する革新的成果の創出・発信を通じて、**本学の国際的な存在感を一層高める**。
- 地震発生物理、地下構造観測・解析、考古学・史料、地形・地質、統計等の専門性・創造性に優れた若手研究者の育成により、**将来にわたる地震発生予測研究の継続的な牽引**及び**防災行政・研究機関などにおける観測研究体制の発展に貢献**することが期待される。